

乳牛の暑熱を克服するための畜産セミナーを開催

今年の夏は例年より暑くなると予報されており、総合的な暑熱対策で乳牛の快適性の実現を図るための畜産セミナーを7月15日に開催し、酪農家及び関係者約50名が参加しました。

セミナーでは、当所職員から家畜用の冷感衣料や地下冷却水による暑熱対策の試験研究成果を報告するとともに、京都大学の久米教授から「乳牛の遺伝的能力を発揮するための暑熱対策」と題して講演いただきました。

また、乳牛舎で実証展示している「地下冷却水の飲水給与」や「寒冷紗の利用」等の暑熱対策の見学を実施しました。

出席者には、暑熱対策の重要性を確認していただくことができました。今後は酪農家での冷感素材の試用をはじめ今回報告した暑熱に係る試験の成果などを取りまとめ技術普及・指導にいかしていくこととしています。



久米教授の講演



乳牛舎で暑熱対策を見学